

市民環境部会 会議録

（出席者） 委員：13名
事務局：3名（戦略部会員：2名、政策推進課：1名）
アドバイザー：1名
ファシリテーター：1名

（会議の内容）

1. はじめに

資料1に基づき、ふり返しシートの質問について事務局から説明しました。

資料2に基づき、第2回まちづくり市民会議（第1回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

2. 今後の検討スケジュールについて

資料3に基づき、今後の検討内容とスケジュールについて事務局から説明しました。

3. 総合計画の人口フレームについて

資料4に基づき、総合計画の人口フレームの方向性について確認を行いました。

4. 戦略プロジェクトについて

資料5に基づき、戦略プロジェクトについて意見交換を行いました。（意見交換の内容は次ページ以降に掲載。）

5. 市民評価について

会場を講堂に移し、「特定外来生物駆除事業」について市民評価を行いました。（市民評価の判定結果は次ページ以降に掲載。）

6. アドバイザー総括（岩崎アドバイザー）

私自身もアルゼンチンアリについて、知らなかった。被害を受けている人でないとわからないが、隣にある危機である。未然に防ぐ観点で、まだ被害の出していない地域でも周知を図るべきだと思った。

7. その他

次回開催日提案として、4月23日（月）19：00からを第1候補として提示しました。

各自振りふりシート、市民評価アンケートを記入し、解散しました。

主な意見（市民環境部会）

項目	現状・課題
人口について	<p>(委員) 結婚してもらい、子どもを産んでもらうことが当然必要であるが、人口問題は自然増だけでは難しい。都市間競争を認識しないと、社会増はない。利便性の高いところに人は流れていく。産業だけではなく、違う強みも必ずあると思う。都市間競争を意識した方が、より田原市らしさが理解しやすいのではないかと。</p> <p>(委員) 方向性は問題ないと思う。あらゆる分野について施策を充実させていくというのもいいと思う。しかし、具体的な部分がないので、今の時点では何も言えない。</p> <p>(アドバイザー) 定住人口にこだわらず、活動人口を増やすという文言をいれるべきではないか。東三河地区の人口は減少しており、どうすることもできない。市民の力により動かせるのは活動人口であり、交流人口であると思う。</p> <p>(委員) 都市間競争という言葉が誤解されたくないが、他市と同じように産業政策をやるべきだと言っているわけでもない。人口が減るのはしかたがないので、田原市らしい形の都市間競争を、ということである。</p>
戦略プロジェクトについて	<p>(委員) 田原市を美しくする運動に水域を加えるとなると、より新たな計画が必要になってくる。まず、賛成・反対を聞き、次に、この2つの事業に対して具体的な計画をいつ、誰がどこでつくるのかという話し合いになるのではないかと。何も計画がない状況の中では、新しいプロジェクトにはなっていない。</p> <p>(委員) 田原市を美しくする運動推進事業で、活動範囲に水域を加えるところがある。海をきれいにしたいということは同じだが、活動の経緯なども違うので、一つの団体で活動するのは難しいのではないかと。</p> <p>[事務局] 現在活動している団体と一緒にという意味ではない。水陸ともにゴミがあり、海も汚濁しているなかで、これを市民の力で改善していこうというものである。</p> <p>(委員) 空き缶を拾うことは、空き缶を捨てない心を育てるのが目的である。そして、そのように活動は発展してきている。ただ、団体により掃除をしていることは同じでも、国際的な問題だったり、全国区の問題だったりするので、目指しているものが少し違う。</p> <p>(委員) 戦略プロジェクトは2つでなければいけないのか。複数ではいけないのか。</p> <p>(委員) 今、三河湾は注目されている。問題視されているなか、ゴミがたまってくる田原市、渥美半島で、海の問題を取り上げないというのはどうかと思う。問題点を三河湾に絞り込むべきである。</p>

	<p>(委員) 空き缶を拾うことは、今さら取り上げなくてもいいと思っていた。タイミング、話題性などがあると、民間事業は動きやすい。今三河湾がクローズアップされて、大きい運動になってきている。その時に渥美半島から運動が始まれば、タイムリーであり、市民を動かす大きな力になる。</p> <p>(委員) 今は我々も手いっぱいである。三河湾に注目が集まる中で、行政と市民がどのようにゴミ拾いの回数を増やしていくのかということについては話し合っていける。</p> <p>(委員) 三河湾の話が出たが、我々は10年くらい前から、三河湾の海の汚さを人に見せる活動をしている。海の汚さは川にある。川から流れてくるものを調べるために、市役所、警察、保健所に行ったが、たらい回しであった。</p> <p>(委員) 市民環境部会でひとつのプロジェクトをつくる目的は何かは提示されていない。例えば「市民が気持ちよく生活できる環境づくり」というようなことであれば、そのために、エコ・ガーデンシティ構想推進事業や、田原市を美しくする運動推進事業が方策としてあがってくると思う。根本の目的がみえていない。</p>
--	---

市民評価（市民環境部会）

《評価対象事業名》： 特定外来生物駆除事業
《事業の方向性に対する判定結果》
拡充：1名、一部改善：5名
《今後の事業実施に関する意見、改善点等の提案等》
<p>< 拡 充 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期に行わないと市全体に広がる可能性があり、根絶は難しい。少しでも密度を下げる必要がある。 <p>< 一部改善 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡散防止のために植物の移動等の危険性を広くPRが必要である。アンケート等から見ると、その地区住民の意識が高いとは言えない。700万円を超えない金額の範囲で24年度実施すべき。今後、期限を定めて継続を考えていくことも大切。 ・これからの対策として、他の住民への周知がもっと必要。 ・アルゼンチンアリが出ている所と出していない所と両方対策すると良い。 ・田原市全体で生息調査をすべき（過去に実施した状態での放置は不適切）。